

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2022 号

The influence of oral malodor on psychological stress

(口臭が精神的ストレスに及ぼす影響)

加藤 正幸 (かとう まさゆき)

博士 (医学)

#### 論文審査結果の要旨

本論文は、口臭を気にしている人の心理的なストレスに関する研究は少ないことから、口臭を気にしている対象者について、揮発性硫黄化合物 (VSC) 濃度と唾液中ストレス成分測定、気分アンケートを実施し、口臭が精神的なストレスにどれだけ影響しているか検討した臨床的に意義ある論文である。口臭の原因物質である VSC の硫化水素、メチルメルカプタン、ジメチルサルファイドのいずれか 1 種類でも閾値を超えていたのは 60.3%であった。性別では、男性 25 名 (62.5%)、女性 35 名 (57.4%) であった。唾液中のストレス成分については、コルチゾール値に口臭の有無で変化はみられなかった。クロモグラニン A 値は女性の口臭有り群で高値を示した。POMS2 による気分の測定では、口臭測定により口臭がないにもかかわらず、「怒り-敵意」、「疲労~無気力」を感じていることが観察され、性別による解析では「抑うつ-落込み」を感じていることが観察された。これらの結果から、口臭測定による口臭の有無にかかわらず、口臭を気にしている人は、精神的ストレスを感じていることを明らかにした。また、口臭の治療においては、歯科的な治療のみならず心理的な面からの治療も重要であることを示唆した論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。